

ノートルダム清心女子大学  
地域連携センター実績報告書

[2018 (平成30) 年度]

ノートルダム清心女子大学  
地域連携センター

# 目 次

センター長ご挨拶 .....	1
I 地域連携センターの概要 .....	2
1. 設立の趣旨 .....	2
2. 概 要 .....	2
3. 組 織 .....	2
4. ノートルダム清心女子大学地域連携センター規則.....	3
II 実績報告 .....	4
1. 地域との連携協力の締結 .....	4
2. 連携協力締結後の実績 .....	4
1) 岡山市教育委員会との実績 .....	4
2) 早島町との実績 .....	5
3) こくさいこどもフォーラム岡山（インターキッズ）との実績 .....	5
4) 和気町との実績 .....	6
5) 岡山市農業協同組合（JA 岡山）との実績 .....	9
6) 岡山市との実績 .....	9
岡山市との実績「平成 30 年度大学生まちづくりチャレンジ事業」 .....	10
7) その他の実績 .....	11
①岡山県「平成 30 年度地域を学んでのこさずたべよう事業」 .....	11
②岡山市立京山公民館「夏休み子どもフリー塾」 .....	12
③岡山市「地産地消マルシェ 2018」 .....	12
III 資 料 .....	14
1. 早島町との包括的連携協力 .....	14
2. 和気町との包括的連携協力 .....	16
3. 岡山市農業協同組合（JA 岡山）との包括的連携協力 .....	17
4. 岡山市との包括的連携協力 .....	21
5. その他 .....	26
1) 岡山県「平成 30 年度地域を学んでのこさずたべよう事業」 .....	26
2) 岡山市立京山公民館「夏休み子どもフリー塾」 .....	30
3) 岡山市「地産地消マルシェ 2018」 .....	32



## センター長ご挨拶

地域連携センター長 小林 修典

地域連携センターでは、設立以来、地域貢献活動に努めてまいりました。

これまで、岡山市教育委員会、早島町、山陽新聞社、こくさいこどもフォーラム岡山（インターキッズ）、和気町と包括的連携協定を結ぶなど、地域との様々な連携協力に取り組んできました。

2018年度は、これらの活動に加え、新たに岡山市農業協同組合（JA岡山）及び岡山市と連携協定を結びました。これまで岡山市教育委員会との連携協定がありましたが、今回、岡山市との総合的な連携を推進することになりました。

このように、当センターを介した地域との連携協力は順調に進行しています。このような連携協力がさらに活発となり、地域と本学との協力関係がより進展する事を願っています。

# I. 地域連携センターの概要

## 1. 設立の趣旨

地域連携センターは、本学の建学の精神に基づき、地域貢献を主たる目的とし、地方自治体、産業界、NPO法人等と連携し、地域文化の発展、教育・学術研究及び人材の育成を図り産学連携、地域活性化のためのシンクタンク機能などの様々な地域貢献活動を総合的に行うとともに、社会人の学び直し、生涯学習講座の活性化に資することを目的としている。

## 2. 概 要

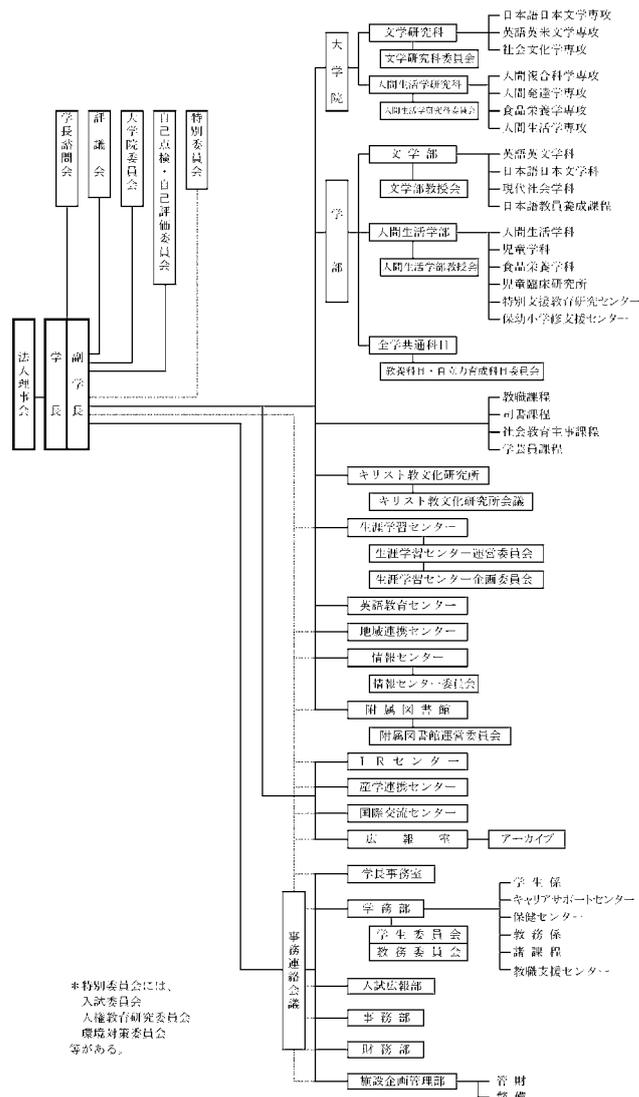
名 称：ノートルダム清心女子大学地域連携センター

開 設 日：2014年4月1日

スタッフ：地域連携センター長 小林 修典  
 地域連携センター客員教授 木山 博雅  
 地域連携センター兼任教授 豊田 尚吾  
 地域連携センター事務職員 樋口 京子

## 3. 組 織

組 織：ノートルダム清心女子大学運営組織（2018（平成30）年4月1日現在）



\*特別委員会には、  
入試委員会  
人権教育研究委員会  
環境対策委員会  
等がある。

#### 4. ノートルダム清心女子大学地域連携センター規則

(目的)

第1条 この規則は、ノートルダム清心女子大学学則第5条の4に基づき、ノートルダム清心女子大学地域連携センター（以下「センター」という。）の設置及び運営に関し、必要な事項を定める。

(設置)

第2条 ノートルダム清心女子大学（以下「本学」という。）に、センターを置く。

2 センターの英語名を NDSU Community Center とする。

(設置の目的)

第3条 センターは、本学の建学の精神に基づき、地域貢献を主たる目的とし、地方自治体、産業界、NPO 法人等と連携し、地域文化の発展、教育・学術研究及び人材の育成を図り、産学連携、地域活性化のためのシンクタンク機能などの様々な地域貢献を総合的に行うとともに、社会人の学び直し、生涯学習講座の活性化に資することを目的とする。

(事業)

第4条 センターは、前条の目的を実現するため、次の各号の事業を行う。

- 一 地域文化の発展、教育・学術研究及び人材の育成
- 二 産官学連携のための支援活動
- 三 生涯学習センターとの連携に関する情報提供
- 四 その他、前条の目的を実現するために必要な事業

(構成)

第5条 センターは、次の委員でもって構成する。

- 一 学長
- 二 副学長
- 三 大学院研究科長
- 四 学部長
- 五 学科長
- 六 学務部長
- 七 地域連携センター長（以下「センター長」という。）
- 八 その他、学長が必要と認めた者

(センター長)

第6条 センターに、センター長を置く。

- 2 センター長は、本学学長が委嘱する。
- 3 センター長は、センターを代表し、これを統括する。

(センター会議)

第7条 センターに、地域連携センター会議（以下「会議」という。）を置く。

- 2 会議については、別に定める。

(事務)

第8条 センターの事務は、生涯学習センター事務室において行う。

(経費)

第9条 センターに係る諸経費は本学の予算から支弁する。

(その他)

第10条 この規則に定めるもののほか、センターの運営に関し、必要な事項は別に定める。

(改正)

第11条 この規則の改正は、評議会の承認を得なければならない。

附 則

この規則は、2014年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、2015年10月28日から施行する。

附 則

この規則は、2016年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、2017年4月1日から施行する。

## Ⅱ 実績報告

### 1. 地域との連携協力の締結

- ・2014（平成26）年6月1日  
ノートルダム清心女子大学と岡山市教育委員会との連携協力に関する協定を締結
- ・2014（平成26）年8月8日  
早島町とノートルダム清心女子大学との包括的連携協力に関する協定を締結
- ・2014（平成26）年8月25日  
株式会社山陽新聞社とノートルダム清心女子大学との包括的連携協力に関する協定を締結
- ・2014（平成26）年8月25日  
こくさいこどもフォーラム岡山（インターキッズ）とノートルダム清心女子大学との包括的連携協力に関する協定を締結
- ・2016（平成28）年5月12日  
和気町とノートルダム清心女子大学との包括的連携協力に関する協定を締結
- ・2018（平成30）年5月23日  
岡山市農業協同組合（JA岡山）とノートルダム清心女子大学との包括的連携協力に関する協定を締結
- ・2018（平成30）年11月2日  
岡山市とノートルダム清心女子大学との包括的連携協力に関する協定を締結

### 2. 連携協力締結後の実績

#### 1) 岡山市教育委員会との実績

年 月 日	内 容
2018(平成30)年4月23日	岡山市特別支援教育専門相談員に人間生活学部児童学科の青山新吾准教授が委嘱される。 委嘱期間：2018年4月10日～2019年3月31日
2018(平成30)年4月13日	平成30年度「子どもほっとライン事業」に係る調査研究委員会委員の委員に人間生活学部児童学科の中内みさ准教授が委嘱される。 委嘱期間：2018年4月1日～2019年3月31日
2018(平成30)年4月18日	平成30年度岡山市スクールカウンセラーに人間生活学部児童学科の東俊一准教授が委嘱される。 委嘱期間：2018年4月3日～2019年3月31日
2018(平成30)年5月1日	専門指導委員派遣事業に係る専門家チーム員に人間生活学部児童学科の湯澤美紀准教授が委嘱される。 委嘱期間：2018年5月1日～2019年3月31日
2018(平成30)年5月8日	専門指導委員派遣事業に係る専門家チーム員に人間生活学部児童学科の青山新吾准教授が委嘱される。 委嘱期間：2018年5月1日～2019年3月31日
2018(平成30)年5月17日 (14:40～17:00)	「特別支援教育の視点を生かした授業づくり実践教育」構内研修会における講師に人間生活学部児童学科の青山新吾准教授

2018(平成30)年8月22日	「英語教育推進のための構内研修会」の講師を人間生活学部児童学科の福原史子准教授が担当する。
2018(平成30)年10月22日	平成30年度岡山県岡山市教員等育成協議会の委員に文学部現代社会学科の河合保生教授が委嘱される。 委嘱期間：2018年4月1日～2019年3月31日
2019(平成31)年1月7日	岡山市文化財保護審議会の委員に文学部現代社会学科の西尾和美教授が委嘱される。 委嘱期間：2019年1月1日～2019年12月31日

## 2) 早島町との実績

年 月 日	内 容
2017(平成29)8月7日	早島町景観審議会委員に人間生活学部人間生活学科の上田恭嗣教授が委嘱される。 委嘱期間：2017年10月1日～2019年9月30日
2018(平成30)年5月12日 (9:00～10:30)	土曜はやしま塾に学生ボランティアとして人間生活学部児童学科2年生を3名派遣
2018(平成30)年6月16日 (9:00～10:30)	土曜はやしま塾に学生ボランティアとして人間生活学部児童学科1年生を1名・2年生を2名派遣
2018(平成30)年6月23日 (9:00～10:30)	土曜はやしま塾に学生ボランティアとして人間生活学部児童学科2年生を1名・4年生を1名派遣
2018(平成30)年7月7日 (9:00～10:30)	土曜はやしま塾に学生ボランティアとして人間生活学部児童学科1年生を1名派遣
2018(平成30)年7月14日 (9:00～10:30)	土曜はやしま塾に学生ボランティアとして人間生活学部児童学科1年生を1名・2年生を2名派遣
2018(平成30)年7月21日 (9:00～10:30)	土曜はやしま塾に学生ボランティアとして人間生活学部児童学科2年生を3名派遣
2018(平成30)年10月20日 (9:00～10:30)	土曜はやしま塾に学生ボランティアとして人間生活学部児童学科2年生を1名派遣
2019(平成31)年2月9日 (9:00～10:30)	土曜はやしま塾に学生ボランティアとして人間生活学部児童学科2年生を2名派遣

## 3) こくさいこどもフォーラム岡山（インターキッズ）との実績

年 月 日	内 容
2018(平成30)年6月10日 (10:00～14:00) (2200JB、ヨゼフ ホールラウンジ)	第15期(2018年度)こくさいこどもフォーラム岡山(インターキッズ)主催「国際塾入塾式」及び「国際塾第1回講座」を本学にて開催 開催日時：2018年6月10日(日)10:00～14:00 開催場所：ヨゼフホールB棟2F2200JB、1Fヨゼフホールラウンジ 講 師：国際塾塾長・NPO法人こくさいこどもフォーラム岡山 会長 浜家弘巳 演 題：国際力を上げるアンテナを掲げよう

2018(平成30)年7月15日 (10:00～14:00) (2200JB、ヨゼフ ホールラウンジ)	第15期(2018年度)こくさいこどもフォーラム岡山(インターキッズ) 主催「国際塾第3回講座」を本学にて開催 開催日時:2018年6月10日(日)10:00～14:00 開催場所:ヨゼフホールB棟2F2200JB、1Fヨゼフホールラウンジ 講師:文学部現代社会学科教授 紺谷 亮一 演 題:アジアとヨーロッパが交差するトルコで考える ～遺跡・文化・宗教～
2018(平成30)年9月16日 (10:00～14:00) (2200JB、ヨゼフ ホールラウンジ)	第15期(2018年度)こくさいこどもフォーラム岡山(インターキッズ) 主催「国際塾第9回講座」を本学にて開催 開催日時:2018年9月16日(日)10:00～14:00 開催場所:ヨゼフホールB棟2F2200JB、1Fヨゼフホールラウンジ 講師:認定NPO法人AMDAボランティアセンター事務局長 竹谷和子 演 題:救える命があればどこまでも
2018(平成30)年9月23日 (10:00～14:00) (2200JB、ヨゼフ ホールラウンジ)	第15期(2018年度)こくさいこどもフォーラム岡山(インターキッズ) 主催「国際塾第10回講座」を本学にて開催 開催日時:2018年9月23日(日)10:00～14:00 開催場所:ヨゼフホールB棟2F2200JB、1Fヨゼフホールラウンジ 講師:元中国短期大学教授・岡山県人権政策審議会委員 角田みどり 演 題:ジェンダー平等を実現させよう～SDGs No.5
2018(平成30)年10月14日 (10:00～14:00) (2200JB、ヨゼフ ホールラウンジ)	第15期(2018年度)こくさいこどもフォーラム岡山(インターキッズ) 主催「国際塾第11回講座」及び「国際塾卒塾式」を本学にて開催 開催日時:2018年10月14日(日)10:00～14:00 開催場所:ヨゼフホールB棟2F2200JB、1Fヨゼフホールラウンジ 講師:国際塾塾長・NPO法人こくさいこどもフォーラム岡山 会長 浜家弘巳 演 題:国際塾であなたの国際力はどのくらい上がった?
2018(平成30)年10月21日 (9:30～12:00) (2200JB)	第15期(2018年度)こくさいこどもフォーラム岡山(インターキッズ) 主催「高校生グローバルゼミ2018」を本学にて開催 開催日時:2018年10月21日(日)10:00～16:30 開催場所:ヨゼフホールB棟2F2200JB 講師:人間生活学部児童学科准教授 福原史子 演 題:今、ボランティアを考える

#### 4) 和気町との実績

年 月 日	内 容
2018(平成30)年4月11日 (18:00～20:30) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科4年生を1名派遣
2018(平成30)年4月25日 (16:30～20:30) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科4年生を1名派遣

2018(平成30)年5月16日 (16:30～20:30) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科4年生を1名派遣
2018(平成30)年5月23日 (16:30～20:30) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科4年生を1名派遣
2018(平成30)年5月26日 (12:30～16:20) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科4年生を1名派遣
2018(平成30)年6月20日 (16:30～20:30) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科4年生を1名派遣
2018(平成30)年6月23日 (12:30～16:20) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科4年生を1名派遣
2018(平成30)年6月27日 (16:30～20:30) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科4年生を1名派遣
2018(平成30)年7月18日 (16:30～20:30) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科4年生を1名派遣
2018(平成30)年7月25日 (16:30～20:30) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科4年生を1名派遣
2018(平成30)年8月1日 (16:30～20:30) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科4年生を1名派遣
2018(平成30)年8月8日 (12:00～18:45) (岡山県立和気閑谷高等学校)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科4年生を1名派遣
2018(平成30)年9月12日 (16:30～20:30) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科4年生を1名派遣
2018(平成30)年9月19日 (16:30～20:30) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科4年生を1名派遣

2018(平成30)年9月22日 (12:30～16:20) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科4年生を1名派遣
2018(平成30)年9月26日 (16:30～20:30) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科4年生を1名派遣
2018(平成30)年10月10日 (16:30～21:10) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科4年生を1名派遣
2018(平成30)年10月17日 (16:30～21:10) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科4年生を1名派遣
2018(平成30)年10月24日 (18:40～21:10) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科4年生を1名派遣
2018(平成30)年10月27日 (12:30～16:20) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科4年生を1名派遣
2018(平成30)年10月31日 (18:00～21:10) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科4年生を1名派遣
2018(平成30)年11月7日 (16:30～21:10) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科4年生を1名派遣
2018(平成30)年11月10日 (12:30～16:20) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科4年生を1名派遣
2018(平成30)年11月14日 (16:30～21:10) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科4年生を1名派遣
2018(平成30)年11月21日 (16:30～21:10) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科4年生を1名派遣
2018(平成30)年11月28日 (16:30～21:10) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科4年生を1名、英語英文学科3年生1名を派遣
2018(平成30)年12月5日 (16:30～21:10) (エンターワケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科4年生を1名派遣

2018(平成30)年12月19日 (16:30～21:10) (エンターウケ)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科4年生を1名派遣
2018(平成30)年12月26日 (7:50～18:30) (岡山県立和気開谷高等学校)	公営塾スタッフ学生ボランティアとして文学部英語英文学科4年生を1名派遣

5) 岡山市農業協同組合 (JA 岡山) との実績

年 月 日	内 容
2018(平成30)年5月23日	岡山市農業協同組合(JA岡山)との包括的連携協力に関する協定を締結
2018(平成30)年10月4日 (12:00～14:20) (JA岡山西大寺支所)	地域内交流会(ミニ・クッキングフェスタ)開催に伴う講師派遣 人間生活学部食品栄養学科 准教授 小見山 百絵 開催日時:2018年10月4日(木)12:00～14:20 開催場所:JA岡山 西大寺支所 内 容:講演・料理レシピの考案・調理指導 講演演題:見直そう毎日のごはん～なにを・どれくらい・どのように～
	学生ボランティアとして人間生活学部食品栄養学科2年生7名派遣
2018(平成30)年12月8日 (9:00～14:30) (大阪市大果大阪青果株式会社) (万代西宮前浜店)	大果大阪青果・量販店 試食フェア開催に伴う講師派遣 人間生活学部食品栄養学科 准教授 小見山 百絵 開催日時:2018年12月8日(日)9:00～14:30 開催場所:大果大阪青果株式会社 内 容:料理レシピの配布 試食宣伝(レンコン、白菜、なす)
	学生ボランティアとして大学院人間生活学研究科(食品栄養学専攻)1年生3名派遣

6) 岡山市との実績

年 月 日	内 容
2018(平成30)年5月	岡山市政策局政策企画課から「平成30年度大学生まちづくりチャレンジ事業」に本学より1事業「ツボジョーワールド探検隊」(代表:文学部日本語日本文学科 山根知子教授、学生21名)が採択される。 活動期間:2018年7月～2019年2月17日
2018(平成30)年5月	岡山市都市計画審議会の委員に文学部現代社会学科の二階堂裕子准教授が委嘱される。 委嘱期間:2018年4月1日～2020年6月30日
2018(平成30)年5月	岡山市北区づくり推進事業審査委員会の委員に文学部現代社会学科の山下美紀教授が委嘱される。 委嘱期間:2018年6月1日～2020年5月31日
2018(平成30)年6月	岡山市男女共同参画社会推進センター運営委員会の委員に文学部現代社会学科の山下美紀教授が委嘱される。 委嘱期間:2018年7月1日～2020年6月30日

2018(平成30)年6月	「路面電車の乗り入れを含めた岡山駅前広場デザイン検討業務委託企画競争審査委員会」の委員に人間生活学部人間生活学科の上田恭嗣教授が委嘱される。 委嘱期間：2018年6月22日～2018年9月30日
2018(平成30)年7月	「岡山市本庁舎整備検討会」の会員に人間生活学部人間生活学科の上田恭嗣教授が委嘱される。 委嘱期間：2018年7月2日～2019年3月31日
2018(平成30)年11月2日	岡山市と本学との包括的連携協力に関する協定を締結
2018(平成30)年11月	「路面電車乗り入れを含めた岡山駅前広場のあり方検討会」に人間生活学部人間生活学科の上田恭嗣教授が委嘱される。 委嘱期間：2018年5月12日～2019年3月31日
2018(平成30)年11月	「岡山市基本政策審議会委員」に文学部現代社会学科の山下美紀教授が委嘱される。 委嘱期間：2018年11月15日～2020年11月14日
2018(平成30)年11月	「岡山市人事委員会委員」に人間生活学部児童学科の西井麻美教授が委嘱される。 委嘱期間：2019年2月1日～2023年1月31日
2018(平成30)年12月15日 (13:30～16:30)	第34回岡山市文学賞 市民の童話賞表彰式・記念行事 会 場：ノートルダム清心女子大学カリタスホール プログラム：・表彰式 ・文学創作ワークショップ 人間生活学部教授 村中李衣 ・<ツボジョーワールド探検隊>活動報告
2019(平成31)年2月23日 (14:00～16:00)	第34回坪田譲治文学賞贈呈式 会 場：ノートルダム清心女子大学ヨゼフホール

岡山市「平成30年度大学生まちづくりチャレンジ事業」

年 月 日	内 容
2018(平成30)年4月	岡山市政策局政策企画課より募集案内。学内に通知 募 集 期 間：2018年4月2日～5月31日 対象となる団体：岡山市内の大学、大学院及び短期大学の教職員を代表と (グループ) した参加学生3名以上で構成されている団体・グループ。 対象となる活動：岡山市内における地域課題の解決や地域活性化を目的 として、行政機関、企業、NPO及び住民自治組織との 協働により実施される活動を対象とする。 ただし、政治活動、宗教活動、営利等目的とするもの、 他の補助制度の対象となっている活動等は除く。 補 助 金 額：補助限度額30万円
2018(平成30)年5月25日	岡山市政策局政策企画課に応募書類提出 ①ツボジョーワールド探検隊(代表：文学部教授 山根知子) 学生21名

2018(平成30)年6月27日	岡山市政策局政策企画課より申請した1事業が採択された。 活動期間：2018年7月～2019年1月末日
2018(平成30)年11月3日 (14:00～16:30)	「大学生まちづくりチャレンジ事業」中間活動報告 場 所：岡山市役所7階大会議室
2019(平成31)年2月17日 (14:00～16:30)	「大学生まちづくりチャレンジ事業」活動報告会(最終報告) 場 所：岡山市役所7階大会議室

7) その他の実績 (①岡山県「平成30年度地域を学んでのこさずたべよう事業」)

年 月 日	内 容
2018(平成30)年3月9日	岡山県環境文化部循環型社会推進課から募集案内。 募 集 期 間：2018年4月2日～2018年5月31日 対象となる団体：岡山市内の大学、大学院及び短期大学の教職員を代表と (グループ) した参加学生3名以上で構成されている団体(グループ) 交 付 対 象：県内外の大学(学校教育法第1条に規定する大学) 対 象 事 業：大学の教員が主催する研究室等。交付申請等は代表教員 が主催する研究室等を所轄する大学が行うものとする。 事 業 内 容：食品がつくられるまでの労力や食品がうまれてくる地 域の土壌・気候・風土等についてフィールドワークに より調査・研究し、若者の視点や発想を生かした小学 生が取り組みやすい教材の作成、出前講座等実施。 事 業 期 間：補助金決定日～平成31年2月28日 補 助 金 額：補助限度額50万円
2018(平成30)年3月20日	岡山県環境文化部循環型社会推進課に応募書類提出。 ①人間生活学部食品栄養学科 食生態学研究室 代 表：人間生活学部食品栄養学科准教授 若本ゆかり 参加学生：人間生活学部食品栄養学科4年生3名、3年生12名、2 年生1名、1年生1名
2018(平成30)年4月11日	岡山県環境文化部循環型社会推進課より採択通知 調 査 対 象 地 域：倉敷市 出前講座等行う小学校：倉敷市立天城小学校
2018(平成30)年5月16日 ～10月31日	・倉敷市立天城小学校へ授業見学、授業についての打ちあわせ ・地域調査：藤戸寺&天城地区、丸倉青果物協同荷受組合、天城教会、 倉敷ホーリネスチャーチ
2018(平成30)年11月8日・9日	倉敷市天城小学校出前授業 2年生2クラス・・・2時間目(9:40～10:25)3時間目(10:50～11:35) 学校長、学校栄養職員、岡山県環境文化部循環 型社会推進課担当者、倉敷市教育委員会保健体 育課担当者参観 2年生1クラス・・・5時限目(14:00～14:45)

7) その他の実績 (②岡山市立京山公民館「夏休み子どもフリー塾」)

年 月 日	内 容
2018(平成30)年5月9日	岡山市立京山公民館・NPO 法人岡山市子どもセンター主催 『夏休み子どもフリー塾 お菓子を作ろう!』ボランティアスタッフおよび講師派遣の依頼 活動内容：お菓子作りを通じて小学生と大学生がコミュニケーションをとることで異世代間の交流のきっかけとなるよう期待。 お菓子作りから協調性やお菓子を作り上げる達成感の高いひと時となることを目指す。 主 催：岡山市立京山公民館 特定非営利活動法人 NPO 法人岡山市子どもセンター 後 援：岡山市
2018(平成30)年8月21日 (10:00～11:00) (京山公民館)	『夏休みフリー塾 お菓子を作ろう!』企画の事前打合と準備 活動内容：本番に向けての事前実習 出 席 者：人間生活学部食品栄養学科 小川真紀子講師 岡山市立京山公民館 蔵坪杏依 西村正美 NPO 法人岡山市子どもセンター 三宅啓子 本学食品栄養学科学生ボランティアスタッフ4名 打合内容：お菓子を作ろうタイムスケジュール お菓子の内容分量等について
2018(平成30)年8月27日 (13:30～15:30) (京山公民館)	『夏休みフリー塾 お菓子を作ろう!』開催 出 席 者：人間生活学部食品栄養学科 小川真紀子講師 岡山市立京山公民館 蔵坪杏依 西村正美 NPO 法人岡山市子どもセンター 三宅啓子 本学食品栄養学科2年生学生ボランティアスタッフ4名 参加人数：小学生15名

7) その他の実績 (③岡山市「地産地消マルシェ2018」)

年 月 日	内 容
2018(平成30)年7月5日 (13:15～14:00) (地域連携センター)	岡山市役所産業観光局農林水産部農林水産課から「地産地消マルシェ2018」の開催に関する募集案内のための事前説明。 出 席 者：岡山市産業観光局農林水産部農林水産課 藤田由美子 株式会社ビザビコミュニケーション局 永末博、金喚奉 地域連携センター長 小林修典教授、豊田尚吾教授 内 容：岡山の高品質な農産物のビジネス活性化を目的とした、岡山市主催のイベント。生産者とコラボした商品開発、まちのカフェとともに開発するカフェメニュー、イベント広報戦略の立案などに学生ならではの視点で参加。  「地産地消マルシェ2018」 開催日時：2018年11月3日(土)9:00～16:00 開催場所：下石井公園

<p>2018(平成30)年7月25日 (12:20～13:00) (ヨゼフホール2300JB)</p>	<p>岡山市役所産業観光局農林水産部農林水産課から「地産地消マルシェ2018」の学生参加募集の内容説明会 出席者：岡山市産業観光局農林水産部農林水産課 藤田由美子 株式会社ビザビコミュニケーション局 永末博、金喚奉 地域連携センター 人間生活学部 豊田尚吾教授 学生：10名</p>
<p>2018(平成30)年8月8日、9日 (9:00～11:30) (ノートルダムホール200ND)</p>	<p>岡山市役所産業観光局農林水産部農林水産課から「地産地消マルシェ2018」の取り組みの実践会議。 出席者：岡山市産業観光局農林水産部農林水産課 藤田由美子 株式会社ビザビコミュニケーション局 永末博、金喚奉 地域連携センター 人間生活学部 豊田尚吾教授 学生：10名</p>
<p>2018(平成30)年11月3日 (9:00～16:00) (下石井公園)</p>	<p>「地産地消マルシェ2018」 開催日時：2018年11月3日(土)9:00～16:00 開催場所：下石井公園 総計69店舗(地元農業者・団体らによる産直野菜販売ブース・ 女性農業者・特産品やご当地グルメのブース、等) 来場者：12,000人</p>

### Ⅲ 資 料

#### 1. 早島町との包括的連携協力

##### 土曜はやしま塾ボランティアに参加して

人間生活学部 児童学科4年 永廣 美紀

土曜はやしま塾は、低・中・高学年に分かれて各自が自習や宿題などをする場である。私はよく低学年を担当しており、学んだことが2つある。

1つ目は、児童それぞれが具体的な目標をもって課題に取り組むことの大切さである。児童は学習を始める前に目標を各自ノートに書く。「がんばる!」といった抽象的な目標ではなく、「○を△ページする」など具体的な目標をたてる。また、学習が終わった際には振り返りを行い、それに対してボランティアの人が一言コメントを書く。ノートに児童自身が振り返りを記すため、自分の学習の軌跡が見えてよい方法だと学んだ。

2つ目は、他のボランティアの人と交流できることである。毎回、児童たちが帰った後に反省会を行い、自分が塾で発見した課題を話し合うことができる。例えば、ひたすらプリントを間違えずに解いている児童がいた時のことである。その児童にとっては簡単な問題であったようで、数をこなすことは大切だと思うのと同時に、このままで良いのか疑問に感じた。ボランティアという短い時間でその児童は何が得意で苦手なのかを見極めるのは難しく、どう指導すればいいのか悩むことがあった。そのことを反省会で伝えると、「ひたすら問題を解くのも大切だけれど、それだけでは飽きてしまう。だから少し困らせる問題を作って出してみる」と同じボランティアの人が提案してくれた。そのことは、私にとって新しい発見であり、次のボランティアで実際に使うことができた。

このように、自分が見つけた課題をボランティアの人とも共有し、様々な手立てを学ぶことができる。土曜はやしま塾で経験したことを将来に活かしていきたい。

## 土曜はやしま塾ボランティアに参加して

人間生活学部 児童学科4年 関元 ひなの

土曜はやしま塾は、早島町の教育委員会が行っているもので、システムが確立している。スタディパスポートを発行していたり、自分のIDからやりたいプリントを自由に印刷できるようになっていたりと、環境が整っていると感じた。また、大学生ボランティアだけでなく、地域の方のボランティアもあり、地域の教育力と触れ合うことができる。地域愛を育むことや、地域の教育力を活用していく生の姿触れさせていただいた。

土曜はやしま塾での自分自身課題は、大きく2つある。一つ目は、人間関係づくりの難しさである。香川県から通っていることもあり、毎回参加することは難しい。そうになると、子どもの関係を毎回一から築いていく必要がある。良い関係になってきた頃にその日の活動が終わってしまうということになる。短時間で関係をつくることの難しさを痛感した。

二つ目は、学校の教室ではないというところである。クラスも学年も違う子どもたちが集まり、そこで関わるとなると当然様々な問題起きる。1年生から6年生まで同じ環境で行うので、最後の15分ぐらいは1年生の集中力をいかに持続させるかが大切になる。イラストを付箋に書いて、ごほうびシールの様に使ったこともある。一方で、6年生だから集中できるという訳でもない。できていることを振り返らせ、自分で次の課題を見つけるように伝えたこともある。様々な児童と一気に関わるため、相手によって対応を変え、臨機応変に関わらなければならない。学校の教室にない大変さがあるが、子どもの様子を少し俯瞰して見て、柔軟に対応することの大切さを学ぶことができた。

地域での子どもの指導の在り方を考え、教室以外での関わりについて体験するいい機会を与えていただいたことに感謝している。

## 2. 和気町との包括的連携協力

### 和気町公営塾でのボランティアに参加して

文学部 英語英文学科4年 三宅 佑奈

和気町公営塾でのボランティア活動を始めてから1年半が経った。ここでの活動は毎日が新しい発見となっている。

私は公立中学校の教員を志望しており、その勉強のためにと公営塾でのボランティアに参加することにした。2年目となる今年度は中学1・2年生の担当を任されることとなり、その中で何度か授業をさせてもらえることにもなった。

中学生の授業を行った時、まずこちらに注意を向かせるのがどれだけ大変かがよくわかった。生徒たちはつい私語に夢中になってしまい、授業に集中できていないようであった。そこで授業内容を工夫することにした。英文法を教えるため、中学1年生にはイラストを用いたパズルを用意し、生徒に楽しみながら文の構造を理解してもらえるように工夫した。中学2年生の場合は、生徒の関心に合わせた授業内容や英語の例文を用いることで、自分から活動に取り組むことができるよう工夫した。その結果、以前よりも授業に関係のない私語をする生徒は減ったと感じた。生徒に合った授業を準備して行うことが、ただ単に「静かにしなさい！」と怒鳴るよりも効果があるのではと考えた授業であった。

公営塾では授業の他に生徒発案のイベントも行っている。今年度のクリスマスには、パーティーの企画を提案した生徒数名が、ほぼ自分たちだけで何週間にも渡って企画を練り、必要な物も準備してきた。念入りの準備のおかげで会は成功し、本人たちも満足そうにしていたことが印象に残っている。このように自分がやりたいと思ったことに一生懸命になれる生徒の姿を見ることができ、こういった機会を教員が奪ってしまっただけではいけない、生徒にできることは生徒にさせてあげたいと考えた。

和気町公営塾では、生徒がどのような授業に関心を持つのか、生徒が先導してイベントを成功させられるのかなど、多くのことについて考えさせられた。ここでの実践や学んだことを、これからの学校現場に活かしていきたい。

### 3. 岡山市農業協同組合（JA 岡山）との包括的連携協力

#### JA 岡山ミニクッキング・フェスタに参加して

人間生活学部食品栄養学科 3 年 松田 菜央

2018 年 10 月 4 日、JA 岡山主催の地域内交流会（ミニクッキング・フェスタ 於 JA 西大寺支所）に、食品栄養学科の小見山百絵先生と学生 7 名が参加した。これは、地元農産物を使った料理を通じて、若い世代に安心・安全な地元農産物の良さや地産地消・食と農の大切さを伝えることなどを目的としたこのイベントである。私たちは、新米、千両ナス、レンコン、カボチャ、黄ニラなど旬の地元農産物を使用した秋の訪れを感じられるお弁当のレシピを作成し、JA 女性部の皆さんと一緒に前日準備、当日約 120 食のお弁当を作成した。

レシピのテーマは「幅広い世代が食事を楽しみながら 1 食野菜 150 グラムを摂取できる秋のヘルシー弁当」とした。メニューは、主食に岡山の美味しい新米を用いてゆかりでトンボを描いた白飯、主菜に素麺をまぶして揚げることで見た目も可愛いレンコン入り鶏肉団子のいが栗風、副菜にクルミの風味で薄味でも美味しく食感も楽しい旬の千両ナスとホウレン草のクルミ和え、シャキッと彩り良くさっぱりとした箸休めとして、JA 女性部が開発した「ほめられ酢」を用いた玉ネギとセロリの甘酢和え、デザートに本格的カボチャプリン、プリンで使用したカボチャの皮を使用したカボチャのきんぴら、岡山の名産品である黄ニラと豆腐のすまし汁、そして岡山のピオーネを添えた。学生が試作を重ね、エネルギー量と三大栄養素のエネルギー比、食塩相当量を考慮し食感や味、細かい調理手順など先生と相談しながらレシピを決定した。

前・当日は、JA 女性部の 20 名の方と調理を行った。“健康に良い料理”と“日常の料理”の作り方のギャップを埋めることが難しいと感じることもあったが、皆さんと出来上がりのイメージについて話をしながら、納得のいくものを作成することが出来た。また調理の際には、段取りのコツや包丁の使い方など調理の仕方についてのアドバイスから、普段食べる料理の隠し味や加えると美味しい食材、昔よく食べていたものなど、私たちの日常の食生活に役立つ知識や興味深い食物の話をたくさんうかがうことができ、大学では学ぶことができない生の知識を得る良い機会となった。

完成したお弁当は、一般消費者や子育て世代の地域住民の方とともにいただいた。自分たちが作成したものをたくさんの方が食べてくださることや、その場の明るい会話や笑顔にとっても達成感を感じた。お弁当への率直な感想も聞くことができ改善点も多く見つかったが、

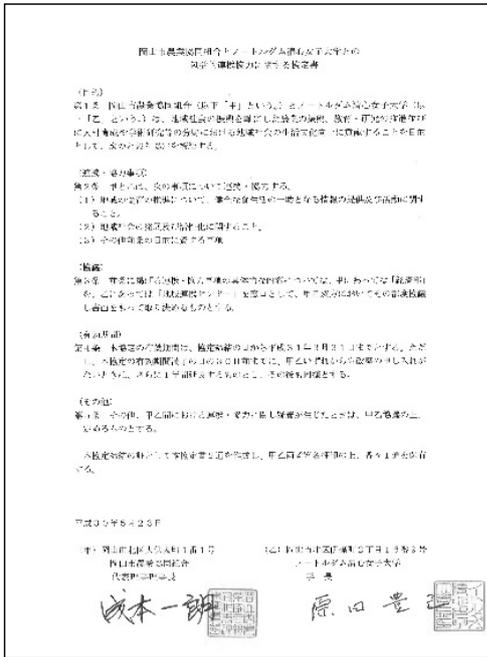
これから栄養士としてたくさんの方に食事を提供していくにあたって初心を忘れないための大切な経験になった。

食事会に続き講演会では、小見山先生が「見直そう毎日のごはん～なにを・どれくらい・どのように～」という題で糖尿病の食事から健康的な食生活の基本をお話しされ、参加者の方も頷きながら普段の食生活を振り返っていた。美味しく健康的な食生活のため、食材や食べ方など、もう一度見直していくことで自分が何を食べるかきちんと選んでいく必要があると感じ、今後その大切さを伝えていきたいという気持ちを新たにしました。就職活動や国家試験対策に忙しい時期であったが、多くの学びを得ることができ、充実した気持ちで終わることができた。



〈ミニクッキング・フェスタ 集合写真〉

### 3. 岡山市農業協同組合（JA 岡山）との包括的連携協力



〈岡山市農業協同組合との包括的連携協力に関する認定書〉



〈2018 (平成 30)年 5月 24日 山陽新聞掲載〉



〈2018 (平成 30)年 5月 23日 岡山市農業協同組合との協定調印式〉

食料・農業についての地域内交流会  
**ミニクッキング・フェスタ**  
 ～おいしく楽しく秋のヘルシー弁当 野菜150g～

JA岡山女性部では、「JA女性、あみだず農業 学ぼう・伝えよう 地域とともに！」を活動の基本方針に据え、地域を元気にする食と農を基礎とした活動として、米消費拡大や食農教育、地産地消運動や地元農産物の消費拡大に取り組んでいます。地元農産物を使った料理を通じて、安心・安全な地元農産物のよさや、地産地消・食と農の大切さを伝え、消費者と相互理解を深めるため、地域内交流会を開催します。是非お越し下さい！

**日時** 10月4日(木) **参加費** 300円  
 12:00～14:30 (開場 11:30) ※当日受付でお支払ください

**場所** JA岡山 西大寺支所 3階大ホール  
 岡山市東区西大寺中野 377-1 岡山東警察署前バス停より徒歩5分

**内容** ■交流会 地元農産物を使った昼食会  
 ノートルダム清心女子大学 食品栄養学科の学生さんがレシピを考案します  
 ■講演会 「見直そう毎日のごはん～なにを・どれくらい・どのように～」  
 ノートルダム清心女子大学 食品栄養学科 准教授 小見山 百絵 氏

**定員** 100名  
 ■応募者多数の場合、抽選を行います  
 ■当選者には「入場券」と「託児申込書(希望者のみ)」を9月中旬にお送りします

**お申し込み方法**  
 ■申込方法：郵送・電話・E-mail・FAX でお申込ください  
 ■申込期日：平成30年9月3日(月)  
 ■お問合せ先：JA岡山 経済部 生活課 〒700-8535 岡山市北区大供表町1-1  
 TEL(086)225-3231 FAX(086)225-3254  
 E-mail: seikatu@ja-okayama.or.jp

主催：JA岡山女性部・JA岡山 協力：ノートルダム清心女子大学  
 後援：JA岡山中央会・(一社)家の光協会

「食料・農業についての地域内交流会(ミニクッキング・フェスタ)」申込書

代表者氏名(フリガナ)	住所
	電話番号(※必須)
同行の参加者氏名(代表者と市町村長を除くは、姓・名・電話番号を記入してください)	託児希望(希望人数と年齢を記入してください)

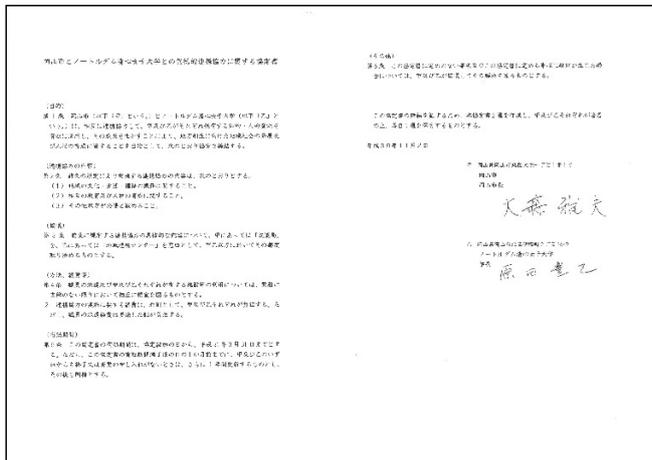
※個人情報につきましては、「食料・農業についての地域内交流会(ミニクッキング・フェスタ)」の範囲内でのみ使用いたします。  
 協賛 滋養センター



〈ミニクッキング・フェスタのチラシ〉



#### 4. 岡山市との包括的連携協力



〈岡山市農業協同組合との包括的連携協力に関する認定書〉



〈2018（平成30）年11月7日 山陽新聞掲載〉

#### ▼〈2018（平成30）年11月2日 岡山市との締結式〉



#### 4. 岡山市との包括的連携協力

##### 岡山市「平成30年度大学生まちづくりチャレンジ事業」

### ツボジョーワールド探検隊

ツボジョーワールド探検隊

文学部 日本語日本文学科3年 楠戸 友梨

私たち日本語日本文学科3年生の有志5名は、昨年度のツボジョーワールド探検隊第1期生の活動を引き継ぎ、第2期生として他の16名のメンバーを誘い、計21名で、平成30年度の岡山市「大学生まちづくりチャレンジ事業」に応募し採択を受け、岡山市が生んだ小説家・児童文学作家の坪田譲治を軸に「生きる力」を育む地域活性化事業に取り組みました。

私たちは、坪田譲治が幼時を過ごした岡山の豊かな自然や人々の温かさによって、苦しさを乗り越えることができる「生きる力」を得たということを認識したことで、譲治の作品からどの世代にも訴えかけるメッセージの具体的な思いを知り、さらに深めて、岡山市民に浸透させる目的をもって活動しました。

活動内容としては、岡山という地で、人間が人間らしく心豊かに生きられるには何が必要かということ地域全体で考えられるよう、まずは現在の岡山市北区島田本町と、同じく北区御津紙工が舞台であると考えられる坪田譲治作『風の中の子供』をテーマとした冊子を作成しました。さらに2018年2月に発掘されたばかりの同作のスライドフィルムと朗読台本(1957年に文部省選定として作成されたもの)を使用して朗読し、それを収録したDVDを作成しました。行事の企画参加としては、譲治の母校である岡山市立石井小学校と岡山県立岡山御津高等学校、および譲治ゆかりの土地にある岡山市立大野小学校で、若い年齢層にそれらを披露することができました。そのうえ一般や高齢の年齢層に向けても、坪田譲治を顕彰する市民団体との協働で譲治作品の朗読会にも参加でき、さらにまさに『風の中の子供』の舞台である天満の公会堂で天満地域から発信するイベントを企画することもできました。これらの行事を通して朗読やトークショーを行ったことで、譲治が岡山を描いた文学に込めたメッセージを広い世代に伝えることができ、岡山の地域を再認識しながら交流できたことを嬉しく感じています。

以上の活動によって、私たちは多くの団体と協働することができ、さらに譲治ゆかりの地で出会った地域の方と譲治作品を共有することで、改めて譲治が作品に描いた岡山の豊かな自然や人々の温かなふれあいの素晴らしさを実感し、岡山という地域を見直しました。

今回の活動で、私たちは譲治に関わりのある地域の方の、譲治を大切にしていこうという思いを肌で感じることができました。さらにこれらの活動ごとの参加者の声などから、私たちの譲治への思いが確実に伝わっていることを実感し、大きな達成感へとつながっていきました。しかし、岡山市全体においては譲治の知名度はまだまだ低いことが実情であり、「文学の力」自体も人々の日常のなかでさほど想起されない傾向にあるのもまた事実です。こういった現状から、私たちはただ表面的に譲治の文学を伝えるのではなく、地域において譲治の文学がどのような深い効果や心の救いを発揮するかを示していくことが、譲治を広める大きな手段であると感じました。そして最終的には私たちの活動が、岡山市全体において、岡山を愛する譲治の「文学の力」から「生きる力」を養う意識を向上させて身につけることにつながり、より良い人生を歩むことができる礎になればと考えます。

協働して活動・行事を行った団体・個人

坪田譲治

「風の中の子供」に会いに行こう  
—島田と天満を大冒険!—



ノートルダム清心女子大学 日本語日本文学科  
「ツボジョーワールド探検隊」による 坪田譲治紹介冊子

【団体】「文学と岡山」製作委員会

岡山市文化振興課（岡山市文学賞）

岡山市立石井小学校

岡山市立大野小学校

岡山県立岡山御津高等学校

石井学区連合町内会

ツボジョー先生の宝さがし実行委員会

坪田譲治を顕彰する会

坪田譲治子どもの館

善太と三平の会

岡山地域教育資源研究会

もものみ文庫（本学卒業生朗読の会）

【個人】岡山市地域おこし協力隊 宮嶋泰明

御津地域活動家 早川浩美

街歩きライター 福田忍

朗読指導 水野智晴

「ツボジョーワールド探検隊」による  
坪田譲治「風の中の子供」に関する紹介冊子  
(2018年8月20日発行)

「ツボジョーワールド探検隊」の活動が掲載された新聞記事

**坪田譲治 朗読し理解**  
吉備路文学館で顕彰会など  
初期の6作品披露

岡山出身の児童文学作家・坪田譲治（1890～1982年）の作品朗読会が18日、吉備路文学館（北区内）の地域住民らが約80人参加し、約1時間、方々で開かれ、約80人の理解を深めた。出生地の石井中学校区で開かれた朗読会では、坪田譲治を顕彰する会と、著作に登場する兄弟の名前を冠した「三平の会」が主催。ノートルダム清心女子大学のグループ「ツボジョーワールド探検隊」も初めて協力した。3グループの会員ら14人が、坪田が伝えているまでに書いた「班馬いなく」や「バケツの中のクラ」など初期の6作品を披露。プロジェクターで挿絵を映し出したり、ピアノの伴奏を挿入したりして、分かりやすく伝えられた。参加した生協連理渡登子さんは「心の中も浮かんた。もっと坪田の作品を知りたいと思

る兄弟の名前を冠した」と話していた。2015年から毎年開いており、4回目（中村啄也）

**坪田文学の魅力伝える  
学生グループ 御津で朗読や演劇**

岡山出身の児童文学作家・坪田譲治（1890～1982年）の作品朗読や演劇を披露し、坪田文学の魅力を取り組む「ツボジョーワールド探検隊」が1日、文学部3年の5人で代表作「風の中の子供」について、御津地区の児童や学生らと交流した。

岡山出身の児童文学作家・坪田譲治（1890～1982年）の作品朗読や演劇を披露し、坪田文学の魅力を取り組む「ツボジョーワールド探検隊」が1日、文学部3年の5人で代表作「風の中の子供」について、御津地区の児童や学生らと交流した。

持ってもらおうとイベントを企画、天満公舎（同御津紙工）に約30人を招いて開いた。936年にタイムスリッパするストーリーの演劇では、作品に出てくる御津地区の川や池を当時の写真で紹介した。姉夫婦が暮らす同地区に何度も足を運んだことなど、坪田とのゆかりについての解説もあった。

リーゲルの橋岡友梨さん20は「私たちの思いは伝えられたと感じた。これからも作品研究を続けたい」と話した。

イベントは、学生が提案したまちづくりの取り組みを支援する岡山市の「本学生まちづくりチャレンジ事業」の一環（中村啄也）

▲ 掲載記事 2018年12月2日 山陽新聞

[ツボジョーワールド探検隊] イベントチラシ

**第4回坪田譲治作品朗読会**

じょうじ わか じだい いし さけ  
**譲治・若き時代～「石も叫ばん」～**

日 時 2019年11月10日(日)  
 14:00～16:30(開演15:30)

場 所 吉備語文学館2階 北条ホール  
 〒760-0868 徳島県徳島市吉備区北条1-1-1  
 〒760-0868 徳島県徳島市吉備区北条1-1-1  
 〒760-0868 徳島県徳島市吉備区北条1-1-1

入場料 無料

**朗読作品**

葎花いばなく (徳島英子・北条信二)  
 正太の嵐 (徳島英子) 監 劇 (徳島英子)  
 パウチの中の影 (坪田譲治・石野真子・徳川和子・青木和子・吉田乃莉華・藤田裕子)  
 スズメとカニ (二階堂辰子・徳島英子・徳川和子)  
 コマ (坪田譲治氏の甥 西野真樹)

ギター演奏 船原 謙  
 ♪「みるみる」(徳島英子)♪  
 作詞 徳島英子 作曲 船原 謙  
 ピアノ演奏 倉澤 裕子  
 朗読の伴 徳島英子 徳川和子  
 監 演 下川 俊子

主催 坪田譲治を顕彰する会・徳太と三平の会  
 後援 岡山県教育委員会

問い合わせ先 徳島県教育委員会 TEL:087-828-8208

▲ 坪田譲治作品朗読会

**坪田譲治と御津天満**

料亭裏庭の作品から見る御津天満の風情

12月1日(日) 10:00～12:00  
 会場:御津「天満公会堂」岡山市北区御津紙工

1 『譲治が描いた『風の中の子供』  
 『風の中の子供』朗読  
 『徳太と三平』に会いに行こう！  
 タイムスリップレポートSHOW

2 『風の中の子供』執筆家のモデルになった  
 『天満 伊丹家』復元図画展示・紹介

3 解説『坪田譲治と御津天満』

主催:岡山県立大学 文学部 国文学科  
 後援:岡山県立大学 文学部 国文学科  
 協賛:岡山県立大学 文学部 国文学科

▲ 坪田譲治と御津天満

**第34回岡山市文学賞**

市民の童話賞表彰式

記念行事

プログラム

◆表彰式(定員300名)  
 小学生の部(一般の部)  
 13:30～14:30  
 会場:ノートルダム清心女子大学  
 カリタスホール(2F)

◆文学創作ワークショップ  
 (定員30名)参加費無料

14:50～16:30  
 会場:ノートルダム清心女子大学  
 カリタスホール(1F)

開催日  
**平成30年  
 12月15日  
 (土)**

申し込み先:岡山県教育委員会 岡山県立大学 文学部 国文学科  
 〒760-0868 徳島県徳島市吉備区北条1-1-1  
 TEL:087-828-8208

▲ 市民の童話賞表彰式

[ツボジョーワールド探検隊] 活動写真

▼ 「風の中の子供」朗読収録



▼ イベント「坪田譲治と御津天満」



ツボジョーワールド探検隊活動日程

月	日	活動名	場所	活動内容
2	25	第33回坪田譲治文学賞授賞式・記念行事	吉備路文学館	・『柿の木と少年』朗読発表
3	27	ツボジョーワールド探検隊2期生結成		・結成式・役割分担
	18	坪田譲治ゆかりの地を歩こう！	石井学区	・譲治のゆかりの地を巡るフィールドワークに参加
4	24	全体ミーティング	本学	・今後の活動に向けた話し合い
6	5	冊子作製（福田忍氏指導）	本学	・福田忍さんからの冊子作りに関する指導・伝授
	末	「ツボジョーワールド探検隊」計21名で応募した結果通知にて採択		・ツボジョーワールド探検隊、岡山市「大学生まちづくりチャレンジ事業」に採択される
7	14	冊子原稿完成		・坪田譲治に関する冊子「坪田譲治「風の中の子供」に会いに行こうー島田と天満を大冒険！ー」
8	17	イベントについての打ち合わせ（大野小学校図書館司書の方と）	本学	・8月に行われる岡山市立大野小学校訪問についての打ち合わせ
	20	冊子発行		・坪田譲治紹介冊子「坪田譲治「風の中の子供」に会いに行こうー島田と天満を大冒険！ー」発行
	21	岡山市立大野小学校朗読行事開催	岡山市立大野小学校	・『バケツの中の鯨』朗読 ・「野殿の池」についてのトークショー ・『バケツの中の鯨』や坪田譲治に関するクイズ
		「つぼじょー先生の宝探し」会合参加（ツボジョー先生の宝さがし実行委員会の方々と）	岡山市立石井小学校	・8月に行われる「つぼじょー先生の宝探し」について協働者との打ち合わせ
	26	「つぼじょー先生の宝探し」開催	岡山市立石井小学校	・『風の中の子供』朗読、演劇 ・譲治作品に関わる遊びの企画（2ブース担当）
		イベントについての打ち合わせ（宮嶋泰明氏と）	本学	・12月のイベント「坪田譲治と御津天満」に関しての打ち合わせ
9	21	『風の中の子供』DVD収録に向けての朗読指導（水野智晴氏指導）	本学	・10月に行われる『風の中の子供』DVD収録に向けての朗読練習
10	6	『風の中の子供』DVD制作のための朗読音声収録	本学多目的室	・『風の中の子供』のスライドフィルムを使用したDVDの朗読音声収録
		イベントに向けての朗読練習（もものみ文庫の方々と）	本学	・11月に行われる「第4回坪田譲治作品朗読会」で共演する、もものみ文庫の方との朗読練習
11	8	岡山県立岡山御津高等学校授業	岡山県立岡山御津高等学校	・『風の中の子供』DVD披露 ・ゲストティーチャーとして「ツボジョーワールド探検隊」の活動についての授業
	14	FM岡山「FreshMorning OKAYAMA」出演	FM岡山	・「ツボジョーワールド探検隊」の活動紹介（11月14日生放送・12月12日収録放送）
	18	第4回坪田譲治朗読会開催	吉備路文学館	・『スズメとカニ』、『バケツの中の鯨』の朗読
	27	イベントについての打ち合わせ（宮嶋泰明氏と）	本学	・12月に行われる「坪田譲治と御津天満」についての打ち合わせ、リハーサル
12	1	「坪田譲治と御津天満」行事開催	天満公会堂	・『風の中の子供』朗読 ・作品の舞台について演劇を交えたトークショー
	4	イベントについての打ち合わせ（岡山市文化振興課の方々と）	本学	・12月に行われる「市民の童話賞表彰式」についての打ち合わせ
	11	イベントについての打ち合わせ（岡山市文化振興課の方々と）	本学	・12月に行われる「市民の童話賞表彰式」についての最終確認
	15	第34回岡山市文学賞 市民の童話賞表彰式開催	本学	・表彰式の司会 ・受賞者へのインタビュー ・「ツボジョーワールド探検隊」の活動報告

※ このほか、毎週火曜日にミーティングを開き、準備を進めた。

## 5. その他

### 1) 岡山県「平成 30 年度地域を学んでのこさずたべよう事業」

#### 倉敷市立天城小学校出前授業を終えて

人間生活学部食品栄養学科 3 年 久津間 寧々

私たちのゼミでは、岡山県環境文化部循環型社会推進課の「平成 30 年度地域を学んでのこさずたべよう事業」に参加させていただくことになった。この事業は、大学生がフィールドワークで学んだことを基に、若い世代に食品ロスの削減について考えてもらう機会となるような出前授業を行うものである。私たちは倉敷市立天城小学校 2 年生に出前授業を行うことになった。

5 月頃からフィールドワークを開始した。まずは小学校近くの、藤戸寺、藤戸饅頭本舗、天城教会を訪問した。藤戸寺では源平合戦ゆかりの品や法要の供物について、藤戸饅頭本舗では饅頭の誕生から現在に至るまでの経緯をうかがった。天城教会では日曜礼拝後に昼食会が行われていたので、私たちも同席させていただいて、使われている食材や料理についてのお話をうかがった。次に学校給食に使用する野菜や果物をあつかう丸倉青果物協同荷受組合を訪問し、安心安全への配慮や必要な食材を必要量確保するための苦労などをうかがった。また子ども食堂の取り組みを始めた倉敷ホーリネスチャーチでは、そのきっかけとなった近年の子どもたちの食環境について教えていただき、子どもたちに寄り添う場としての食事の大切さを改めて感じる事ができた。

9 月半ば頃から本格的に授業の準備が始まった。とくに苦労したのは、私たちがフィールドワークで得た情報を 2 年生にわかるように授業に取り入れることだった。わかりやすく楽しく学んでもらえるように替え歌も考えたが、リズムに乗せて上手く伝えたい内容をあてはめていくのは簡単な作業ではなかった。しかし、ゼミのメンバー全員でアイデアを出し合って最終的にはいいものが出来上がったと思う。

媒体作成とあわせて授業の練習も始まった。初めて練習をしたときは指導案通りに読むのが精一杯で、児童の反応まで配慮する余裕は全くなかった。自分を客観的に見るができなかったため、他のグループの練習を見てどういった話し方をすれば伝わりやすいのか、反応にはどう対応すればより楽しい授業が展開できるのかを学んだ。声の抑揚の付け方が私にとっての課題だったが、練習を重ねていくうちに少しずつ自信もついてきた。他のグループも、初回の練習時と比べて授業前日の最後の練習ではとてもわかりやすい授業ができるようになっていた。

授業当日は、私たちが最初に授業を行うグループでもあったため、朝からとても緊張していた。

緊張もあり初めは手探りで授業を進めてしまったが、担当したクラスの児童は元気が良く、問いかけにはきちんと答えてくれたので、その元気に助けられて楽しい授業展開にすることができたと思う。児童の素直な反応にも、グループメンバー同士でフォローし合いながら対応することができた。児童たちは盛綱橋の写真を見せても、藤戸寺の写真を見せてもすぐに「知ってる!」と声があがり、地元のことをよく知っていた。最後に苦労した替え歌をみんなで歌ったときは、元気一杯大きな声で歌ってくれたので本当に嬉しかった。

今回、このような貴重な学びの機会を与えてくださった倉敷市立天城小学校の皆さま、岡山県環境文化部循環型社会推進課の皆さま、倉敷市教育委員会の皆さま、そしてお話を聞かせてくださった藤戸・天城地区の皆さまに心から感謝いたします。



▲ 学内で出前授業の準備をする様子

1) 岡山県「平成 30 年度地域を学んでのこさずたべよう事業」



〈11月8日～9日 天城小学校の子どもと触れ合う学生たち（出前授業）〉

〈藤戸町天城周辺の調査をする学生たち〉



〈6月24日 藤戸寺〉



〈6月24日 藤戸饅頭本舗〉



〈8月5日 天城教会〉



〈8月7日 丸倉青果物協同荷受組合〉



〈9月9日 倉敷ホーリネスチャーチ〉



〈藤戸寺の沙羅の花〉

## 2) 岡山市立京山公民館「夏休み子どもフリー塾」

### 夏休み子どもフリー塾ボランティアに参加して

人間生活学部食品栄養学科 2年 谷本 真菜

普段、子供と触れ合う機会がほとんどなく、子供達とどのように接したらよいのかという不安が少しありましたが、とても貴重な体験をすることができました。

今回参加したフリー塾のテーマである「お菓子を作ろう」の「お菓子」は米粉のココア蒸しパンとフルーツ入りのボンボンゼリーに決めました。“アレルギーのある子供でも食べられるお菓子作り”ということも考慮したため、蒸しパンには小麦粉を使用せず米粉を使用しました。ボンボンゼリーは、家に持って帰ることができて、見た目がかわいくるように工夫しました。アレルギーの考慮だけではなく、おいしいということも満たすように、材料の見直しや配分、加熱時間などを変えるなどして、何度か試作を行いました。なかなか自分たちの納得がいくように作ることができず、“アレルギーへの考慮”と“おいしさ”との両方を満たすように作る大変さを学びました。

そして、フリー塾本番では、15人の子供達が参加しました。子供達が中心となって、できるだけ多くの作業を子供達自身で行ってもらいました。作る前に、お菓子作りをしたことがあるか質問してみると、多くの子供たちが「したことがあるよ。」や「前も作ったよ。」と答えてくれました。ゼリー作りでレモン汁を加える際に、「何でレモン汁をいれるのかな。」という質問をしてくれた子供がいました。この質問をされた時、どのように答えたらよいのか戸惑ってしまいました。試作をするだけではなく、子供達が疑問に思いそうなところを事前に調べておくことも必要だと思いました。ゼリー作りではひもで蝶々結びをする作業がありました。蝶々結びができない子供に、難しいから私がしようかと聞くと、「自分でしたい。」と何度もチャレンジしました。すぐに諦めずに何度もチャレンジする姿に感心しました。子供達は積極的に作業に取り組んでいました。蒸しパンの生地をカップに入れるときに、こぼさずになるべく早く入れるにはどうしたらよいかと話し合いながら工夫していたり、やり方が分からない子に優しくやり方を教えてあげていたり、子供達の間で協力し合っている姿が多くみられ、感心しました。最後に、出来上がった蒸しパンにデコレーションをしました。子供達はチョコペンやホイップクリームなどを使って、楽しそうにデコレーションをしていました。

調理を終えて、子供たちは自分好みにデコレーションした蒸しパンとボンボンゼリーをおいしそうに食べていました。「お母さんとお兄ちゃんにも食べてもらいたい。」と丁寧に袋に入れて持ち帰る子供や、「またお家でも作って家族に食べてもらいたい。」と張り切っている子供もいました。

この夏休みフリー塾のお菓子作りが、食や料理に興味をもつきっかけになったり、協調性を養う機会になってくれたらいいなと思いました。

## 2) 岡山市立京山公民館「夏休み子どもフリー塾」

平成30年度 1期0歳入岡山市子どもセンター、京山子ども劇団、京山公民館主催

# 京山公民館 夏休みフリー塾

もうすぐ夏休み！公民館の楽しい環境に参加しよう！参加したい講座を1つだけ決めて、番号を申し込み用紙に書いて、公民館の応募箱に入れてね！

①「習字を楽しもう！」  
日時：7月24日（火）13:30～15:30  
講師：明誠学院高等学校書道部のみなさん  
定員：20名 参加費：350円  
持ち物：習字道具、（造学年で大きい筆（特号）があれば持参）筆水筒（いすの高級調剤用）、飲み水、汗ふきタオル

②「実験工作をしよう！」  
くるくる風車・ワナカタおりがみ 他  
日時：7月30日（月）10:30～12:00  
講師：岡山理科大学 高見寿先生  
定員：18名 参加費：150円  
持ち物：はさみ、ホチキス、30センチものさし  
筆記用品、飲み物、汗ふきタオル

③「絵手紙で元気を贈ろう！」  
日時：7月31日（火）10:00～12:00  
講師：京山公民館絵手紙クラブのボランティアのみなさん  
定員：20名 参加費：300円  
持ち物：水消しの筆、糊、水入れ、鉛筆、パレット、筆洗用の家（紙をさかいてよいもの）、ボウタイティッシュ、つまみ針、飲み水、汗ふきタオル、\*1枚は切手代はがきです。送りたい人の住所まで用意ください。

④「宿題をしよう！」  
夏休みの宿題をしたらおやつタイムがあるよ！  
日時：7月31日（火）13:30～15:50  
講師：京山中学校と地域のボランティアのみなさん  
定員：100名 参加費：150円  
持ち物：宿題、筆記用具、飲み水、汗ふきタオル  
※おやつは乳製品です。

**子ども映画会**  
日時：8月3日（金）10:00～11:30  
定員：100名 費用：無料  
・トムとジェリー  
・ぼくはヒーロー  
・まんが日本昔ばなし  
・みまごのパンやさん

※映画、汗ふきタオルは各自で持ってきてください。  
ぜひ親子で来てみてください！

申し込みが定員を超過した場合は、抽選となります。抽選結果は、7月13日（金）～20日（金）に公民館事務室にお名前を掲示します。申し込まれた方必ず抽選までご確認ください。落選された場合は無効となります。また、参加費には夏休みの習字材料30円と子どもセンター事務手数料20円が含まれています。

お問い合わせ 京山公民館 253-6332 月・火・水・金（9:30～21:00） 土（9:30～17:00） 水・祝祭日休み

○京山公民館夏休みフリー塾申込書○7月10日（火）21:00までに京山公民館の応募箱に入れてください。（電話&FAXは不可）

名前 \_\_\_\_\_ 小学校 年 組 \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_

電話番号（ \_\_\_\_\_ ） \_\_\_\_\_ 番

※電話番号は当日必ず連絡が取れる番号をご記入ください。  
\*大人ボランティア募集！参加可能な方はお名前をご記入ください！（ \_\_\_\_\_ ）

〈夏休み子どもフリー塾のチラシ〉



〈子どもたちが作ったココア蒸しパンとボンボンゼリー〉



〈楽しくお菓子作りをする様子〉



〈自分で作ったお菓子を食べる子どもたち〉

### 3) 岡山市「地産地消マルシェ 2018」

#### 「おかやま秋の収穫祭 地産地消マルシェ 2018」活動報告書

人間生活学人間生活学科 2年 佐野 未歩 (サブリーダー)

岡山市 (岡山市役所産業観光局農林水産部農林水産課) が主催する「地産地消マルシェ」への協力依頼が、2018年7月ノートルダム清心女子大学にあり、地域連携センターを窓口に行われた募集に応じた学生15名が活動を行った。「おかやま秋の収穫祭 地産地消マルシェ 2018」とは、岡山市のウェブサイトによると「市民みんなで秋の収穫を祝い、岡山市の農業の魅力を発信。年に一度の農業まつり」であり、「産直農産物の販売ブースやグルメブースなどが多数出展します。岡山の秋の味覚が満喫できるイベントです」とPRされている。岡山市の農業振興を目的として、農作物の販売や、地元で採れた農作物を地元のレストランが調理した食べ物の販売などを行うイベントである。2018年で3回目の開催となった。具体的には2018年11月3日(土)9:00～16:00、北区幸町の下石井公園で行われた。

15名の学生は1年生から4年生まで、学科も様々なメンバーで構成されていた。メンバーでの話し合いの結果、チーム名は「清心 farmers」に決まった。主催者(岡山市)側の問題意識としては、会場に若い人がより多く来てもらいたいというものであったので、主に広報を中心に協力することとなった。活動内容としては、運営主体のビザビに協力し、事前に行われるマッチング商談会、試食会などに参加し、司会の手伝いや取材などを行った。学生からの提案で地産地消マルシェを宣伝するためのインスタグラムを解説し、清心 farmers の活動をアップするなどの協力を行った。

もう一つの取り組みとして、当初は地元レストランとスイーツメニューを開発することが予定されていたが、先方の事情もあり、ラーメンの新メニュー開発に協力することになった。結果、地元のラーメン店による、黄ニラとパクチーを用いた塩ラーメンが完成し、イベント前日のTV出演などにも協力した。

当日は、岡山大学の大学祭と重なるなどの想定外の事情があったものの、晴天に恵まれ昨年と比較して約20%増の動員を達成した。12月14日には最終の報告会を開催して一連の活動を終えた。

初めての試みであったため、岡山市、学生双方に不慣れなところがあり、活動時間の確保、メンバー間のコミュニケーションといったところに課題が残った。来年も地産地消マルシェは継続する可能性が高いとのことなので、引き続きノートルダム清心女子大学と連携していくこともありえる。その場合には、今回の反省を生かし、学生のよい経験にもなり、地域にもより貢献できる活動にしていくことが望まれる。

### 3) 岡山市「地産地消マルシェ 2018」



〈地産地消マルシェ2018のチラシ〉



〈11月3日 マルシェの会場となった下石井公園〉



〈12月14日に本学で行われたマルシェ報告会の様子〉

## 地域連携センター実績報告書 [2018 (平成30) 年度]

---

2019年3月発行

編集・発行 ノートルダム清心女子大学 地域連携センター  
〒700-8516 岡山県岡山市北区伊福町二丁目16番9号  
TEL 086-252-7054  
FAX 086-252-7044

印刷 株式会社 ダイニ印刷  
〒700-0961 岡山県岡山市北区北長瀬本町13番26号

---